

# 豊栄地区 意見一覧

## 問7：お米以外の作物を生産・出荷している品目

| 番号 | 品目                            |
|----|-------------------------------|
| 1  | 種子組合へ貸付                       |
| 2  | 20品目                          |
| 3  | 梅                             |
| 4  | ジャガイモ                         |
| 5  | 大豆、落花生                        |
| 6  | 野菜各種,ブドウ,柿、タケノコ               |
| 7  | コシヒカリ、アキヒカリも種子                |
| 8  | 空豆、トマト、ナス、キュウリ、カボチャ、枝豆等の自家消費用 |
| 9  | 蓮根                            |

## 問9：地域農業を維持していくために、今後必要なこと

| 番号 | 意見   |
|----|--|
| 1  | 米の値段   |
| 2  | 農業の為でなく自然災害の為に保全管理してもらいたい。川の整備も一向に進まない為、土が川の中に流れ込んでいる。         |
| 3  | 町道等が荒れている問題が第一である  |
| 4  | 人材の確保  |
| 5  | 講習会、食の安全に関する勉強会→小学生、中学生等へ栄養士が教えていく。米だけでなく地産地消の強化。              |
| 6  | 米の販売先拡大  |
| 7  | 農業用の機械が高いので外国の機械を安く買えるような政策に切り替えるべきだと思う（国内の機械屋の保護のしすぎ←これは国の問題） |
| 8  | もうかる農業。食料をなめるな！  |
| 9  | 町行政主体の営農化  |
| 10 | 人材の確保、暗渠整備など   |
| 11 | 大規模農家等が営農できるように米の価格を上げる。それによって新規就農者が増えるようにする。                  |
| 12 | 揚水設備老朽化対応  |
| 13 | 農業における収入の大   |
| 14 | 兼業農家人口を増やす。大型機のいらない自給農   |

## 問10：地域農業の将来に対する期待すること、不安に感じること

| 番号 | 意見  |
|----|---|
| 1  | 河川に近くまとまって荒れている田畠は、調整池として町で借り上げて水害対策を図られたい。   |
| 2  | 高齢化で人がいないなかで、担い手や生産集団が作れるのかが問題である。  |
| 3  | 地域農業を守っているという観点から全農家に対して長南町独自の補助金制度の創設をお願いしたい。このままでは地域農業は崩壊し、農村の原風景は守れないと思う。  |
| 4  | 後継者無し。  |
| 5  | 期待、米の値段。不安、米の値段。  |
| 6  | 墨田に貯水池を増しているが須田、岩川等川が合流する場所が川幅も狭く地元に増設しないのはどうしてなのか！！  |
| 7  | 数年前から耕作してくれる人探してますが、町に相談しても音沙汰がありません。どうしたらよいでしょうか？  |
| 8  | 3月に関原営農組合で座談会形式で意見交換の場がありました。まずは現状調査ということでしょうが、町では本当に将来の農業を考えているのでしょうか？私の周りでは元々農家であっても50歳を過ぎても農地保全には関心がない人間が多くみられます。将来期待が持てない農業に対して親も何も言わないでしょう。元々日本は農業国です。それが今では自給率が数%です。国も町も将来期待が持てる具体案・策を構築しなければいけないと思います。町独自の方向性を打ち出してほしいと思います。来年春までに営農協議会でのまとめをしないといけないとの事ですが済んだら終わりではなく行政で将来の農業を真剣に考えていただきたい。 |
| 9  | 地域農業の将来に対して期待することはあまりない。高速道路がすぐ近くにありインターインチチェンジもあるために、この地域は住宅に適していると思う。住宅街になることが望ましいと思う。そのためには果樹等への取組も大切だと思う。米作は適していないと思う。  |
| 10 | 農業従事者と勤め人の収入の格差の解消ができるのか？   |
| 11 | 少しでも長く担い手である営農組合が活動いただけるよう願っている。担い手不足により水利組合の活動が困難になるときが来ると思う。その時は現状の施設では米満においては水田の耕作ができなくなると思う。米満においては町の都市計画の中での土地利用計画にあるような農地以外での活用を推進願いたい。   |
| 12 | 3反歩耕作してもらっています。6反歩作らないで荒れています。耕作してもらえたらしいのですが。  |
| 13 | 農地の保全管理   |

| 番号 | 意見   |
|----|--|
| 14 | 情報（必要なもの）が伝わりにくい。時間、人手、経済的な理由から保全、管理が難しい。  |
| 15 | あと10年ほどで現在農業をしている人が農業をやめてしまう可能性が高い。今でも休耕田が増えていることでそんな予想がする。  |
| 16 | 通称「どぶ田」と呼ばれる田は借り手がつかない、敬遠される。また1枚の田を修繕する（水はけ）のに数十万円がかかった。他にも休耕田がある。はっきり言ってお荷物である。  |
| 17 | 草刈をシルバーセンターに頼んでいるがいつまでその資金が出せるか心配している。またシルバーセンターで働く方が集まるかも心配している。息子は東京で別の仕事についており、農地を管理しないかもしれない。誰が管理するか心配している。  |
| 18 | 子供が農業に感心がない  |
| 19 | 農地を計画的に手放したい   |
| 20 | 現在ハス田として貸付をしていますので先は未定です。  |
| 21 | この状態が続くと今後5～10年先は戸数の減少となりそうです。<br>高齢者や子供がいない農業経営どころではない。農地と宅地も荒廃してしまう恐れがあります。  |
| 22 | 土地改良済の田んぼでも面積が小さいので返された後の手入れが心配です。一番の不安です。   |
| 23 | 今更不安に感じること自体遅いと思います。この様になる琴は30、40年前から想像出来ていたいた事だと思う。   |
| 24 | 担い手の減少、荒地の増加。  |
| 25 | 法人組織化の充実を進めてほしい。   |
| 26 | 今後の農業を考えて若い方は町を離れ農業というものを思わなく大学を出たらよい会社へと進む現代です。そう考えていくと「長南町立農業育成学校」を作り、その後離職・転職・退職した人たちが町に戻り第二の人生を送れる、男女ともに農業従事者として生活できる賃金も確保できるという、そうできたら素晴らしいと思います。長南町は田園風景が特徴的な町です。今後も美しい田園風景を守るためにには町の努力が必須です。田園風景を守る方向で町を守ってもらいたい。※町長さんにはリーダーシップを最大限発揮してもらいたい。 |
| 27 | 農事組合法人で経営しているが1年1年高齢化していく。今後5年たつと78歳くらいになる。その後どうなるか不安だ。また一方で法人を引き継いでくれる人（法人）があるといい。日本の人口は減っているが世界の人口は増えている。必ず食糧不足はくる。農業の未来は明るいのだが。   |

| 番号 | 意見  |
|----|---|
| 28 | 農地の貸付（担い手の高齢化）、農地の保全管理、山林の保全管理について不安に感じている。将来を見通した地域の農業の維持、成長を期待したい。  |
| 29 | 収入より機械代が高いため、常に毎年マイナスになっている。毎年修理代が大変。年々気温が上昇しているため、熱中症の危険が高いので草刈り、稻刈り等が大変。  |
| 30 | 町における農業課題は、担い手不足の改善と耕作放棄地の解消であると考える。各集落営農組織も高齢化が進み、農地の集積は今以上に進まなくなると思われる。これから5年間で各営農組合員も平均年齢が70代になっていく状況のなか、今後いかに地域のリーダーとなる若手人材を確保し、育成する事が急務であると思う。   |
| 31 | 町は農業者に多額の補助をしてきたが、個人的に耕作面積のみ増やし管理草刈等も刈り取り後の耕運もせずの方もみあたる。このことはいま一度考え直しては。町の上層部方が人口減と言っているが、本町に来る方は老人と所得の少ない方と思われ旧住民と中々なじまない。町は他町より下水道ガス等々整備されているし米は良作と言われているので、味噌や麹利用で発酵食品が広く利用の収入になってきている。    |
| 32 | 私は後継者がいない。一人娘は結婚して家を出たため跡取りがいない。  |
| 33 | 1. 耕作放棄地による環境の悪化。2. 担い手の発掘。   |
| 34 | 人生先の事はわからない   |
| 35 | 春から秋にかけての草刈が大変です。   |
| 36 | 農地を守ることが生活環境を守ることになるので、適切な方策をお願いします。  |
| 37 | 米価が安価だと作り手がなくなるので米価を上げたらと思う。  |
| 38 | 又富地区の地形上から考えると、米作以外の物は不適当と思われます（昔谷であった所らしいので）。人口の増加、農業への関心の高まる方策の配慮が欲しいものです。例えば米を中心とした「せんべい」や米粉で「パン」「お菓子」作り等のできる製作所があるといいと思う（小規模作り）。米の生産と製作所での米を利用した製品作りで雇用が生まれると思う。しかし現状は若い人がいなく高齢者が多いので難しい。 |
| 39 | 国防を考えた政治、食料自給率の確保のための政策をできる政治家を選ぶこと。農地の流動性を高め、使用したい人が容易に使える農地法のため、不耕作地に対し固定資産税を引き上げる。   |
| 40 | 後継者がいない。平らな土地が少ない。下水施設がない。用水施設が老朽化で使えない。若い人が組織の組合長になる！  |

| 番号 | 意見  |
|----|---|
| 41 | 現在利用している農機具が老朽化して買い替えもままならずこれから先どうしたらいいか悩んでいる。農機具の更新に際して補助制度があれば助かるが、今の制度では大規模農家や認定農業者にしか適用されず私たち零細農家に対しては冷たい。零細農家は先祖代々の農地を必死に守っている。行政は私たち零細農家に対しても援助の手を差し伸べてほしい。   |
| 42 | 高齢化による担い手、作業者の不足。農業に対する補助の強化。   |
| 43 | 期待することはない<br>①米価が安すぎる②高齢化して草刈り等が負担となってきている。③米の収入で機械の購入ができない等。   |
| 44 | 営農従事者が高齢化しているが、若い後継者が育っていない。5、6年後後継者が育っていないと現在委託されている10haの田んぼが荒れてしまう可能性あり。長南全域で大規模化して水稻栽培することも中、長期には考えるべきである。（例.豊栄地域で大規模営農組合の株式化）   |
| 45 | 農業用の機械が高いので外国の機械を安く買えるような政策に切り替えるべきだと思う（国内の機械屋の保護のしすぎ←これは国の問題）最近外国人観光客の増加により「日本で食べるおにぎり」が人気があり米の値段が2倍になっていると昨日のテレビでやっていましたが、米ならどこにも負けないブランド米を作ったり、小麦でしたら品質なら上等の小麦を作る。大豆ならとにかく豆腐がおいしいなど、現実なら難しいと思いますが、これらの農作物が高い価格で販売できたなら農業やる人も出てくるのではないかと思います。追伸.現在の農業は収入に対し経費の掛かりすぎであることが若い人が農業を嫌う要因であると思います。 |
| 46 | 獣害の被害が多い、電気柵があってもイノシシの進入が多い。<br>価格の低迷により、購入する機械代の支払いもできない。<br>資材価格を安くする。今の農業はまるで老人クラブが行っている様なもので若い人の参入が見込めない。   |
| 47 | 生産者への手厚い補助が必要。  |
| 48 | 水田としての適地が不足、無い事。こんな水田をいつまで耕作できるか？しかし適していないからと耕作放棄することもできない。農業が成り立たない。ジレンマ。こんな農業では担い手は望めない。誰もやりたがらない。担い手がいないから集約すればよいなどと簡単な話ではない。新卒の若者ができる（したくなる）農業を作るしかない。  |
| 49 | 後継者がいないので心配です。  |
| 50 | 後継者がいないので将来どのようにしたらよいか分からない。  |
| 51 | 不安でいっぱい   |
| 52 | 若手労働者の受け入れ、育成（地域外や外国人受け入れも）。水田周辺の草刈作業の省力化、省力化草刈機械の開発、導入。  |
| 53 | 担い手の高齢化。人手不足。機械や施設の不足（資金不足）。ギリギリの機械で作業しているから。法人化したんだからもっと手厚い支援がほしい。   |

| 番号 | 意見  |
|----|---|
| 54 | 営農組合は現在あるが、高齢化で担い手がおらず、5年後は営農組合が存続するかわからない。このままでは将来農地が荒れて地域が存続できなくなり、住民が田舎からいなくなる。  |
| 55 | 現在の営農組合はほとんど高齢者である。稲作を減らして収益性の高い作物へ変えた方が良い。市外から担い手を誘致して若者が参加しやすくする。大豆、小麦、野菜、花、しいたけ、加工場（味噌）（個人でやるのは大変ですので法人化して経営）  |
| 56 | 用水、排水等の設備の管理。   |
| 57 | 将来の地域農業構想作成は極めて大事なことですが、その様にしている内に人口減少などは待った無しで進みます。本町も空き家や耕作放棄地が増加しております。目先の対応かと思いますが、コロナ禍から在宅勤務者が増加しており、これらの方たちに新しい暮らし方を町として提案してはいかがでしょうか？例えば空き家と耕作放棄地をセットにしての住生活の提案です。空き家でテレワークをし、耕作放棄地で野菜等を作る、食糧問題の一助になるかと思います。 |
| 58 | 自己管理の場合でも草刈りだけでも相当の負担です。本業に影響している程です。収入に見合わない重労働では誰でも遠ざかります。<br>営利団体等利益により、地主の配当等あれば助かりますが、でなければ売却も視野に入ってしまいます。   |
| 59 | どこまで販売米価が下がるのか。   |
| 60 | 今は現状維持を考えているが、今後の状況で柔軟な対応を取りたい。   |
| 61 | 農業機械、農薬、肥料等が値上がりする中、米の価格が今までは法人、集約化をしても後継者がいなくなる。米の価格を税金を使ってでも上げて安心して就農できるようすれば集団化や後継者もできると思う。  |
| 62 | 個人農家を集約化する強力な指導者が必要。  |
| 63 | 長南町は米作しかないので将来は不安しかない。  |
| 64 | シルバー人材の活用。  |
| 65 | 休耕地の管理。   |
| 66 | 休耕地が増えて荒廃していくと思う。   |
| 67 | 作業者本人の年齢による体力の不安、故障やケガに注意しております。<br>トラクター、コンバイン、田植え機なども点検しながらやっています。<br>もう交換部品の在庫がないかもしれません。  |
| 68 | 耕作放棄地の増加と農地の荒廃。   |
| 69 | 担い手の確保に対して、環境の整備。   |
| 70 | 水利が悪かったり雨天には水没するなど条件の悪い水田は管理保全しているが、借り手もなく今後の管理を苦慮している。   |

| 番号 | 意見  |
|----|---|
| 71 | 地域性にあった農業活動ができると期待します。  |
| 72 | 大型機械のいらない自給農 + $\alpha$ をする人が増えることで農地を使う人が増える。長南町の風土が育てた人と田畠を生かす政策を打ち出していくことで守られる里山の風景がつくり出す人間に目を向けると楽しくなってくる。今も農は歓びです。 |